

## パークレイズ、独占禁止法違反に関して欧州委員会との和解を発表

欧州委員会(以下「委員会」)は12月4日、欧州銀行間取引金利(EURIBOR)に関連する独占禁止法違反行為を巡って、パークレイズを含む複数の銀行と和解に達したことを発表しました。和解は、銀行の行為はEURIBORを参照する金利デリバティブの正常な価格決定の過程を歪めようとしたもので、EU競争法に違反したことを認める内容となっています。

委員会の発表にある通り、パークレイズはEURIBORに関連する問題行為を委員会に自ら報告し、委員会の調査に全面的に協力しました。調査への協力が認められたことから、パークレイズは、本来科されていた制裁金の支払いを全面的に免除されました。

委員会が調査した情報は、2012年6月にパークレイズとの間で成立した合意の一環として、英国金融サービス機構、米国商品先物取引委員会、米国司法省も調べたものです。

なお、委員会により円LIBORに関わる独占禁止法違反行為があったとされた銀行の中にパークレイズは含まれておらず、12月4日に併せて発表されたこの件を巡る委員会との和解にはパークレイズは関係していません。

本件に関するお問い合わせ先:

**パークレイズ**  
メディア・リレーションズ  
ジャイルズ・クルート  
+44 (0) 20 7116 4755

### パークレイズについて

パークレイズは、個人・法人向け銀行業務、クレジットカード、投資銀行業務、資産管理業務などさまざまな金融サービスを欧州、米州、アフリカ、アジアといった地域で展開している世界有数の金融機関です。パークレイズは、人々が目標を実現できるよう、正しい方法で手助けをすることを目標としています。300年以上の歴史と銀行としての専門性を備えたパークレイズは、50カ国で約14万人もの従業員を擁しています。世界中のお客様に、為替、融資、投資、資産管理などのサービスを提供しています。より詳細な情報は、グループのウェブサイト [www.barclays.com](http://www.barclays.com) をご参照ください。

本稿は、パークレイズ・グループが2013年12月4日に発表した英文プレスリリース、“Barclays Announces Antitrust settlement with the European Commission”の日本語訳です。その正確な内容につきましては、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と原文において齟齬がある場合には原文が優先します。リリース原文は <http://group.barclays.com/> のニュースセクションにてご覧いただけます。